

置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先に連絡ください。

受付 No.	
研究課題名	電気けいれん療法の多施設実績報告を用いた国内動向集計および発作誘発困難症例対策の検証に関する研究
当院の研究責任者 (所属)	診療部精神科 診療部長 赤羽隆樹
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	山梨大学医学部 精神神経医学講座 講師 安田 和幸
本研究の目的	本研究は電気けいれん療法を受けた患者さんたちがどのような精神疾患であったか、どのような手技で行われたか、電気けいれん療法の治療効果や安全性とそれに関わる可能性がある要素（精神疾患の診断や病態、内服薬剤、治療手技）、発作が誘発できずに治療困難となった場合の対処方法について調査し、日本国内から発表することを目的としています。これにより電気けいれん療法の治療効果を最大限に発揮して、できる限り安全な治療を多くの施設で実現することを目指しています。
調査データ該当期間	2016年1月から2024年12月までの情報を調査対象とします。
研究の方法(使用する 試料等)	2016年1月から2024年12月の間に公立置賜総合病院で電気けいれん療法を受けた患者さんの、診療録や実施のデータをまとめ、以下のことについて調査をしていきます。 1) 施設全体や施設ごとの傾向（電気けいれん療法の現状） 2) 治療効果や副作用の程度 3) 発作誘発困難症例に対する電極配置切り替え法の治療効果 ◆利用する情報 性別、年齢、診断、標的症状、薬物使用歴、ECT回数、電極配置、最終刺激用量、治療反応、有害事象、発作誘発困難例対応に関するデータなど
試料/情報の 他の研究機関への提 供及び提供方法	研究に用いる情報は、氏名や住所、生年月日などの個人情報を削除し、代わりに研究用の番号を付与した上で、パスワードを設定した電子メールにより山梨大学医学部、京都大学医学部、関西医科大学医学部へ提供します。個人情報と研究用の番号を対応させるための表については提供せず、当院の研究責任者が保管・管理

	<p>します。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。</p> <p>本研究は、日本総合病院精神医学会電気けいれん療法委員会の経費を用いて実施します。この研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>電話：0238-46-5000（病院代表番号）</p> <p>担当者：</p> <p>※病院代表番号から医局へ電話を転送します。</p> <p>用件を伝えていただきますと、折り返し担当者より連絡いたします。</p>
<p>備考</p>	